

株安局面で堅調なパフォーマンスのファンドとは？

国内株式市場では TOPIX（配当込み）が年初来の3カ月間（2018年3月末まで）で4.67%下落し、外国為替市場でも円高・ドル安が進み、ドル・円は5.98%の円高となりました。

こうした株安・円高局面で分散投資先として注目されるのはどのようなファンドでしょうか。注目したのは、大型株とは異なる値動きをしやすい「国内小型株」、海外株式や為替相場の影響を受けにくい「国内 REIT」、日本だけでなく海外に幅広く分散投資を行う「海外株式（為替ヘッジなし）」、国の分散、資産の分散も行うことで下落リスクを軽減する「バランス」の4つのタイプのファンドです。

そこで各タイプの中から、実際に年初来の3カ月で堅調なパフォーマンスだったファンドをピックアップ。いずれのファンドも、同期間のトータルリターンがプラスとなっただけでなく、各ファンドが属するモーニングスターカテゴリーの平均を上回り、株安局面で相対的に良好なパフォーマンスを達成したファンドとなっています。

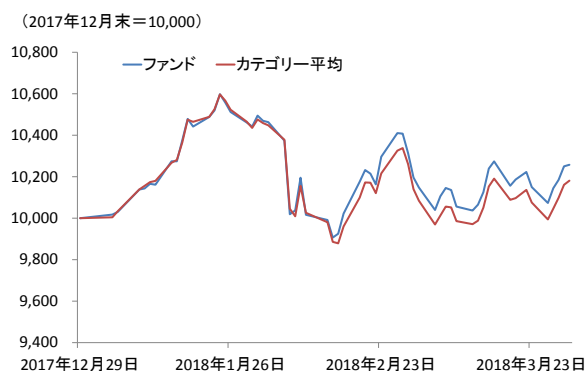
各ファンドいずれも、イオン銀行でお取り扱いしております。

①【国内 REIT】Jリートファンド 店頭 ネット

「Jリートファンド」は東証 REIT 指数（配当込み）を上回る投資成果を目標とするアクティブファンドです。2018年3月末までの過去3カ月間のトータルリターンは2.58%と、当ファンドが属するモーニングスターカテゴリー「国内 REIT」の平均を0.77%上回り、相対的に良好なパフォーマンスを達成しています。

また、当ファンドの2018年3月末までの過去5年間のトータルリターン（年率）は3.94%と、プラスのリターンを達成。さらに、5年トータルリターンの推移は2013年1月末から2018年3月末までの63カ月全ての月でプラスとなっており、長期で見ても下落リスクが抑制されています。

図表：年初来リターン（2018年3月末まで）



※カテゴリー平均=モーニングスターインデックス 国内 REIT(単純)

②【海外株式（為替ヘッジなし）】世界eコマース関連株式オープン

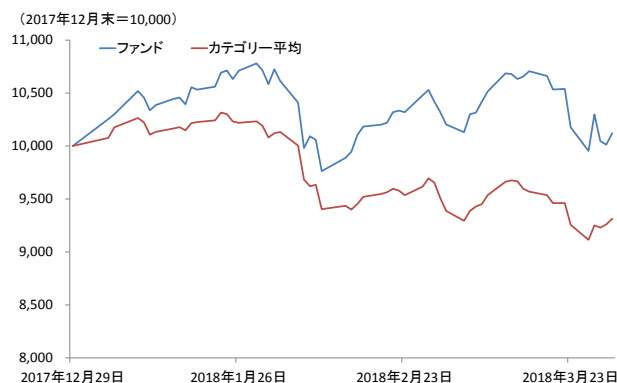
店頭

ネット

「世界eコマース関連株式オープン」は、世界の株式のうちeコマース（電子商取引）など新たな消費関連企業の株式に投資するアクティブファンドです。2018年3月末までの過去3カ月間のトータルリターンは1.20%と、モーニングスターカテゴリ「国際株式・グローバル・含む日本（為替ヘッジなし）」の平均を8.06%上回り、カテゴリ内上位2%（230本中第4位）とトップクラスの運用成績となっています。

投資対象は日本を含む先進国に加え、中国など新興国にも分散しているほか、企業の規模別組入比率（2018年3月末時点）も超大型45.7%、大型28.1%、中型18.8%、小型7.5%と分散が効いており、幅広く収益機会を追究しています。

図表：年初来リターン（2018年3月末まで）



※カテゴリ平均＝モーニングスターインデックス 国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)(単純)

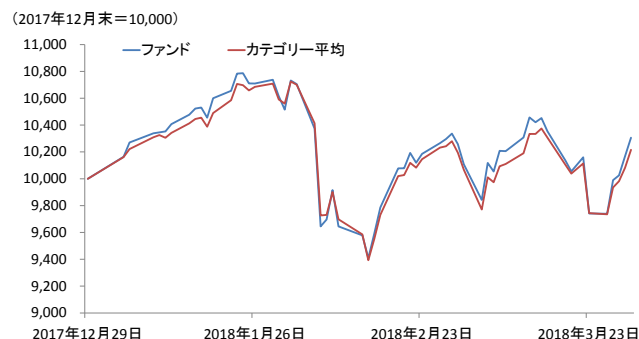
③【国内小型株】Jオープン(店頭・小型株)

ネット専用

「Jオープン(店頭・小型株)」は中長期的に高成長が期待できる国内中堅企業の株式に投資するアクティブファンドです。2018年3月末までの過去3カ月間のトータルリターンは3.06%と、モーニングスターカテゴリ「国内小型グロース」の平均を0.90%上回り、株安局面で相対的に良好なパフォーマンスを達成しています。

また、シャープレシオ(※)は過去3年間で1.86とカテゴリ平均を0.26上回り、カテゴリ内で上位12%（59本中第7位）、過去5年間で1.75とカテゴリ平均を0.29上回り、カテゴリ内で上位24%（47本中第11位）となっており、相対的に低いリスクで高いリターンを上げています。

図表：年初来リターン（2018年3月末まで）



※カテゴリ平均＝モーニングスターインデックス 国内小型グロース(単純)

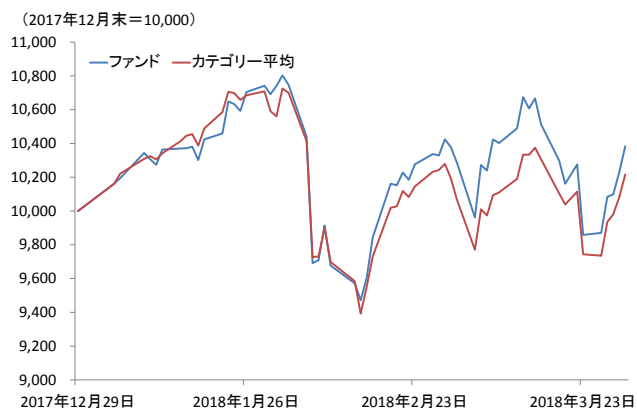
※シャープレシオ＝リスクに見合ったリターンが得られているかを示す指標。数値が大きい方がリスクに対してリターンが大きい、つまり効率よくリターンを上げていることを表す。

④ 【国内小型株】 インベスコ 店頭・成長株オープン ネット専用

「インベスコ 店頭・成長株オープン」は、継続的な高い利益成長によって主として新興市場から比較的早く、東証一部へ上場すると見込まれる企業に、中長期的に投資するアクティブファンドです。2018年3月末までの過去3カ月間のトータルリターン3.83%と、モーニングスターカテゴリー「国内小型グロース」の平均を1.67%上回り、株安局面で相対的に良好なパフォーマンスを維持しています。

銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチにより高い利益成長が見込まれる企業の中から、成長性を勘案した株価の割安度などを考慮します。

図表：年初来リターン（2018年3月末まで）



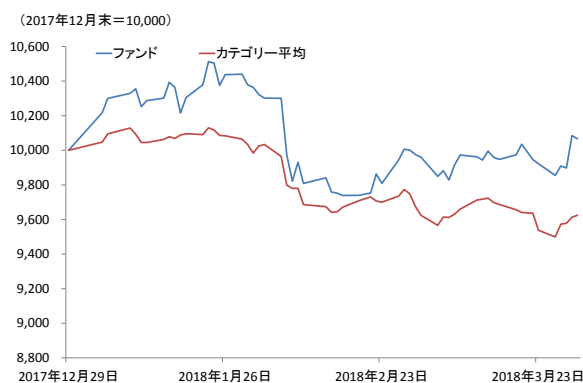
※カテゴリー平均=モーニングスターインデックス 国内小型グロース(単純)

⑤ 【バランス】 ベトナム・ASEAN・バランスファンド ネット専用

「ベトナム・ASEAN・バランスファンド」は、ベトナムの株式及びASEAN（東南アジア諸国連合）地域の債券に分散投資するアクティブファンドです。2018年3月末までの過去3カ月間のトータルリターンは0.67%と、モーニングスターカテゴリー「安定成長」の平均を4.42%上回り、カテゴリー内上位1%（353本中第2位）とトップクラスの運用成績となっています。

トータルリターンは過去1年間、3年間、5年間、10年間全ての期間でカテゴリー内上位1%と、中長期でも極めて良好となっています。モーニングスターレーティング（※）は2018年3月末時点で5ツ星と、リスクを考慮したパフォーマンスも優れています。

図表：年初来リターン（2018年3月末まで）



※カテゴリー平均=モーニングスターインデックス バランス・安定成長型(単純)

※モーニングスターレーティング=モーニングスターカテゴリー内でリスク調整後のリターンが相対的にどのランクに位置するかを1ツ星から5ツ星まで5段階で表したものです。星の数が多いほど過去の成績が良かったことを示す。